



富山県SDGs宣言実施状況報告書



2025年4月1日

企業・団体名 公益財団法人黒部市国際文化センター

代表者名 理事長 大橋聡司

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

記

1 取組み期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	【目標】多くの市民がこの文化会館に関心を持ち、市民自らの意思(企画等)と手(ボランティア)によって運営されていくという今までの取組をさらに発展させていく 【実施状況】 自主事業は、市民の代表でもある「運営委員会」で、事業の企画や提案を行いました。コラーレ倶楽部(友の会)会員の中で関心を持って活動する「アクティブグループ」、子どもたちによる文化を支援する「リトルカルチャークラブ」、24時間ライヴやEarth Moving実行委員会によりイベント運営していくなど、あらゆるレベルにおいて市民自らの意志(企画等)と手(ボランティア)による運営を行った。
2	【目標】①世界の人々との交流や芸術文化の鑑賞・参加体験を通じて国際相互理解を深め、多様性を尊重する心を育む機会を提供する ②公正で民主的な会館運営と気持ちよく利用できる施設・体制を目指す 【実施状況】 ①黒部市国際交流員による国際交流活動として、子どもを対象とした「国際交流員とあそぼう」と、大人を対象にした「異文化体験教室」を開催したり、食文化を通して異文化に触れる「国際交流サロン」、Earth Moving(インド編)では、その国の芸術や文化を紹介するなど、ワークショップ体験の企画や鑑賞を通して国際相互理解を深めました。 ②カーターホール公演では障がい者や車椅子利用者の特別席や、足の不自由な方へ『おもしろ席』の用意にも配慮しました。
3	【目標】青少年、高齢者、障害者等すべての人に芸術文化の鑑賞・参加の機会を提供し、豊かで潤いのある生活を支援する 【実施状況】 コラーレでは、障がい者の方へのチケット料金の割引や一人親家庭等のご家族のご招待を行った。また、イベントのアーティストが学校へ出向く出前授業を行った。美術館では、学芸員が学校と連携しながら出前授業を実施した。また、児童生徒向けの美術鑑賞ワークシート配布したことにより、学校から作品鑑賞授業としての来館もあった。

※宣言日(ウェブサイト掲載日)から3か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。